

AWA

2007 Vol.14

awa onna akindo juku

おんなあきんど塾



阿波おんなが「経済」を考える

【報告】出張講座 in 徳島文理大学 & 雇用・能力開発機構徳島センター「キャストと語ろう！起業とこれからの地域経済活性化」

【特集】もっと活用しませんか？AWAメンターバンクのすすめ

【予告】「阿波おんな元気サミット」阿波おんなは阿波文化／経済と文化の融合・内藤智枝さん

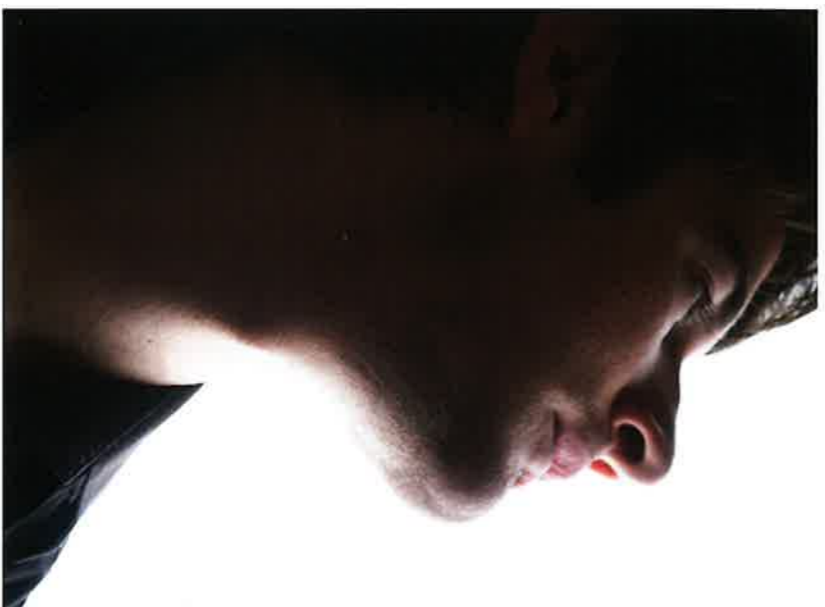
awa onna akindo juku Vol.12 Spring 2007

■編集・発行
AWAおんなあきんど塾・徳島市

■お問い合わせ先
徳島市商工労働課

徳島市幸町2丁目5 Tel:088-621-5225・5226 <http://www.nmt.ne.jp/~akindo/>

■デザイン
株式会社アワード



■作者名／内藤 智枝・作品名／ポートレート・Andrew
awa onna akindo juku Gallery

起業とこれからの地域経済活性化

AWAおんなあきんど塾出張講座 in 徳島文理大学

帝国データバンクの調査によると、徳島は女性社長の比率が全国トップであるとか。この評価のひとつに徳島女性のバイタリティーやたくましさも上げられています。徳島の経済活性化のため、知恵と行動でその方策を探り、かつ、その取り組みを応援する6人のAWAおんなあきんど塾キャストたちが、企業とこれからの地域経済活性化についてそれぞれの思いを熱く語りました。



●とき
平成18年6月22日(木)

●ところ
徳島文理大学総合政策学部

●参加人数
61人

●出張キャスト

株式会社クラッシー 代表取締役社長
植田貴世子

株式会社あわわ 代表取締役社長
坂田千代子

有限会社ケイトップス 代表取締役
高岡 慶子

有限会社モンド・ジャコモ 代表取締役
高木 博代

プライダルコアときわ 専務取締役
高畑富士子

株式会社ココア堂 代表取締役
立川 真季

以上 AWAおんなあきんど塾キャスト



■ 参加者のみなさんからのメッセージ (アンケートより)

- ◎ 今回の意見交換会で男性社長と女性社長でも変わりなく経営者という人種なんだということがわかりました。経営者としての苦しさや楽しさなどのいろいろな話が聞いて良かったと思います。経営の楽しさがわかって良かったと思います。
- ◎ 業種によっていろいろ使い分けていけないといけないという点。また、植田社長の仕事では目力が大事ということが印象に残っている。こういった機会をまた作ってほしいと思います。
- ◎ 高岡さんの話の中で「初めて入った会社は、厳しい職務だったが、その分精神的に鍛えられた」という言葉がとても印象に残りました。
- ◎ 女性経営者の方の表情がとても明るいと思いました。女性経営者の皆さんは業種も違えば、年齢も違う、なのにみんな仕事を楽しい、楽しむと思ってやることがすごいと思いました。今回

- 福祉とは離れて、経営の授業を聞き、たくさんためになることを得られたような気がします。また経営だけでなく日常しなければいけないコミュニケーションや心のことを再確認できたと思います。
- ◎ 女性社長の生の声を聞けてとてもうれしかったです。社長が今、どのようなことを考えているのか、これからどのようなことを考えているのかが聞いて、社長は大変な職だということがわかりました。
- ◎ 皆が社長になるまでの経歴や、苦労や喜びを話してくれました。あと、面接で採用するときに人柄がよさそうで目力のある人を探ると言っていたので参考にさせていただきます。
- ◎ 生で経営者の講義を聴くことができ、とても刺激になりました。3年なので就職活動に取りかかる時期なのですが、こういう講義に参加すると、モチベーションがかなり上がりました。

- ◎ 高畑さんが学生の内にしかできないことはたくさんあるから、積極的になって欲しいとおっしゃっていたのが印象に残りました。僕自身もっとこれから積極的にいろいろなことにチャレンジしてみたいと思いました。
- ◎ やはり経営者として、意見を述べるころははっきりと述べていたけれども、どことなく話を聞いていて楽しさができました。90分では物足りないの、また時間を取って、自社での体験談を聞きたいです。
- ◎ 坂田さんの変化をおそれず、変化を楽しみ、新たなチャンスに挑戦するという言葉が印象に残りました。
- ◎ 高校生だった頃に、いろいろな企業や会社で働くOBを招いて授業をもらったことはあったが、こんな風に話し合うみたいな形を取っての授業ではなかったので、新鮮でおもしろかったです。

AWAおんなあきんど塾出張講座
in 独立行政法人 雇用・能力開発機構徳島センター

第2回目の出張講座は独立行政法人 雇用・能力開発機構徳島センターにて開催しました。5人のAWAおんなあきんど塾キャストたちが参加し、起業した会社の事業内容・基本理念・これから目指す目標等を語り、参加者との質疑応答などが行われました。



●と き
平成18年8月24日(木)

●と ころ
独立行政法人 雇用・能力開発機構徳島センター

●参加人数
30人

●出張キャスト

株式会社クラッシュ 代表取締役社長
植田貴世子

株式会社あわわ 代表取締役社長
坂田千代子

有限会社ケイトップス 代表取締役
高岡 慶子

ブライダルコアときわ 専務取締役
高畑富士子

有限会社徳島潤水祥雲閣 役員
和田多美子

以上 AWAおんなあきんど塾キャスト



■参加者との質疑応答

●キャストへの質問

県外のご出身と言うことですが、徳島の人に対してどのような印象を持っていますか？

●キャストより

ブライダルをやっている、お客様に接するたびに感じるのですが、女性が強い県だという印象があります。女性が働くこと、外に出ること、お金を使うことに対して非常に自由な県だなと思っています。おおらかでありながら非常に現実的ですね、起業するにはとても良い土地があると思います。

●キャストへの質問

安売りをしないために、どのようなことをしていますか？

●キャストより

現実的には製造業と違い、リピーターとなりにくい業界です。経営者としては安売りのイメージは作りたくないですね。安く売ることは簡単ですが、それから価格設定を高くしなければならなくなったときに大変です。マクドナルドがいい例ですよ。私が目指すところはイメージは高く、たとえば広告、店のイメージ、スタッフのクオリティなどで良質の物を提供し、支払うときに安く感じていただく。お客様に付加価値を感じてもらえるようにめざしています。

●キャストへの質問

コンピューターの世界は進歩が早いですが、新しい技術への対策はどのようにされていますか？

●キャストより

本を買って読んだら解ることもありますが、どこも開発していない様な技術を使った依頼もあります。そういうときの為にインターネットでどれだけの確に物事が調べられるか、ということを練習させています。1時間調べても分からないということは調べ方が悪いということ、的確にインターネットから情報を得て動かしてみる。この段取りの早さを重視しています。

阿波 AWA おんなは 阿波 OUR 文化

経済と文化の融合

AWAおんなあきんど塾では、地域経済活性化へのビジョンの1つに「経済と文化の融合」を掲げています。“文化”の存在なしには、経済発展は考えられないと思っているからです。

これまで、この機関誌の裏表紙を“Gallery”として徳島で活躍する文化人、芸術家の作品や活動を紹介してきました。

今秋、国民文化祭が徳島県内各地で開催され、全国から多くの方が徳島を訪問される好機に、様々な分野で活躍している徳島の元気な女性（阿波おんな）たちが、阿波の文化であり、元気の源であることを全国に発信し、徳島の輝く女性たちを紹介しようと、「阿波おんな元気サミット」を開催します。



あなたも「阿波おんな元気サミット」に参加してみませんか？

■キャストからのメッセージ



阿波おんなあきんど塾キャスト
株式会社 ココア堂
代表取締役社長
立川 真季

徳島は「女性経営者比率全国NO.1」です。なぜそうなのか、さまざまな見解はございますが、AWAおんなあきんど塾では「徳島の女性はみんな元気だからっ！」ってことで、まとまりました！

そこで、本年徳島県で開催される「国民文化祭」の期間中に、「阿波おんな元気サミット」を実施する運びになりました。当日は、「ときめく」「彩る」「輝く」「味わう」「創る」の5つのキーワードを基に、楽

しいパフォーマンスと意見交換の場を設ける予定です。

徳島の女性が、なぜいつも元気で明るく、働きもんなのか？ご参加いただいた皆さまが、それぞれに感じていただければ幸いです。

■私たちもサミットに参加します！

- 青江文さん／アン モデルエージェント
- 敷島のり子さん／グラフィックデザイナー
- 四宮賀代さん／阿波おどりグループ「虹」
- 島内陽子さん／(株) ON THE TABLE
- 鈴木仁美さん／HITOMIクッキングスタジオ
- 立木さとみさん／(株) 立木写真館
- 板東美千代さん／オートクチュール板東
- 福永由里子さん／カラープロデュース ユリ他多数

阿波おんな 元気サミット

日時

平成19年11月2日(金) 18:00～

場所

ザ・パシフィックハーバー
徳島市中洲町3-5-1

参加費

未定
※徳島の食材を使ったお料理でおいしい徳島も体験できます。

■お問い合わせ

徳島市商工労政課まで
Tel. 088-621-5225・5226
Fax. 088-621-5196

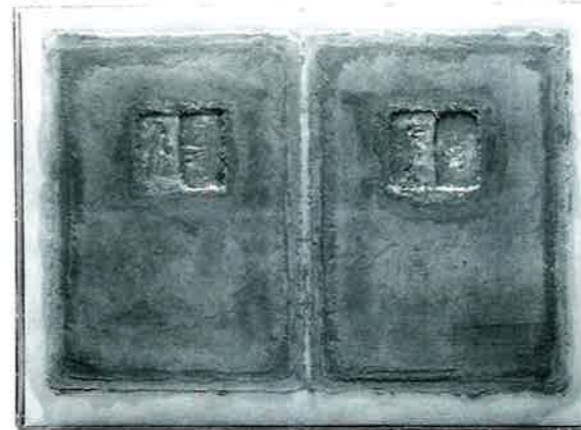
今秋にむけて、サミットに関することは、随時、あきんど塾ホームページにてお知らせします。たくさんの方のご参加をおまちしています。

今年の秋は、国民文化祭が徳島で開催されます。「経済と文化の融合」をビジョンの1つに掲げているAWAおんなあきんど塾では、これまで機関誌で、さまざまな分野で活躍する若手芸術家のみなさまを紹介してきました。今号では、文化にスポットをあて、これまで紹介してきた作品を振り返ってみました。

生田 浩三さん

徳島市
作家による作家のためのギャラリー「ボラーノ」をオープンさせた6人の作家のひとり。「黒の作家」として独自の活動を続ける。

Here (版画孔版 AD 1/1 セメント、鉛)



高島 宏児さん

徳島市
「自然・社会・自己のなかで私が作品を作る私が作品を観る、という文脈を問うていきたいと思っています。」

UNTITLED (無題)



花生



野村 透さん

徳島市・ガラス工芸家
川崎のガラス工芸専門学校で学んだ後、徳島市の「徳島ガラススタジオ」へ。

ざわめき (リトグラフ)



鈴木 良治さん

徳島市
多摩美大から同大大学院で版画を専攻し、在学中から各賞を受賞、1999年には日本版画協会展で第二席に当たる山口源新人賞を受賞。

夢のもつれ



村上 美智子さん

徳島市
京都出身。成安女子短大造形芸術科染織コースを卒業。結婚を機に徳島へ。

interview No.14

interview
guest

ないとう ちえ
内藤 智枝さん

[フォトグラファー・徳島市]

●インタビュー
AWAおんなあきんど塾 キャスト
坂田千代子

いずれはきちんと起業して
スタジオを持ちたいと思っています。

今号の本シリーズではフリーのライター・フォトグラファーとして活躍する徳島市在住の内藤智枝さんです。関西出身の内藤さんは大学進学を機に徳島に生まれ、県内、県外を問わず様々な媒体で活躍しています。



写真をはじめのきっかけはいつ、どのようにしてですか？

内藤さん 大学在学中に中国の武漢へ留学したとき撮影しはじめたのがきっかけです。卒業後、制作会社で誌面編集の仕事をしていたのですが、「外に出て仕事をしてみたい」という思いが強くなりフリーライターとして契約し、そのなかで独学で写真を学んできました。

写真を続けてこられてどのようなことを感じていますか？

内藤さん やればやるほど奥の深い世界だなと感じています。1つの課題をクリアしたらまた次の課題が見えてきて…ということの繰り返しです。

県外からの仕事はどういった経緯で受けるようになったのですか？

内藤さん 最初は徳島市内の出版社に自分から売り込みに行ったのですが、そこから県内外の代理店や制作会社を紹介してもらい、さらに別の方を紹介してもらおうという感じで仕事の依頼が増えてきました。最初に売り込みに行ったことですごく世界が広がったと思っています。

今後の目標を教えてください。

内藤さん 現在は撮影、取材撮影、コピーライティングといろいろな仕事をしていますが、将来は商業フォトグラファー（ファッション、ポートレート方面）を主として活動したいと思っています。また、いずれはきちんと起業してスタジオを持つのも大きな夢です。最終の目標は、四国にはまだない、写真のプロを育てる学校を作りたいですね。

掲載作品について

作品名:ポートレート・Andrew
仕事では女性モデル撮影が多いので、男性モデルを撮ってみました。男性の中に眠るセクシーさを引き出せればと撮影しました。

●AWAおんなあきんど塾キャスト/稲実房子、植田貴世子、岡部恭子、角元昭子、角元 愛、金岡真由美、河野世津子、蔵本美美子、坂田千代子、和田多美子、佐藤公子、高岡慶子、高木博代、高畑富士子、立川真季、中山律子、新居洋子、吉田真由美、米川慶子、米津江美、和田玲子(五十音順)

無題(陶)



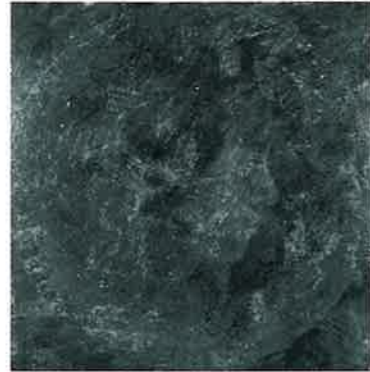
美鳥 悦子さん

徳島市
知る人ぞ知る作家「うさぎちゃん」の
正体。

ミズギワ



想月



神吉 廣純さん

徳島市・モダンアート協会会員
withTAC神吉廣純展開催、モダンアート徳島
支部展出演、見るものに「絵画とデザインの世界」
を改めて意識させる作品を発表している。

尾形光琳先生の器の中(水彩画)



森田 摩美さん

徳島市・イラストレーター
デザイン会社勤務を経て、フリーのイラストレーターとして活動を開始。

無題(油彩)



平岡 規佐子さん

徳島市
平成8、9年の第60、61回「新
制作展」に連続入展を果た
した。

海のチェア(イラストレーション)



武市 りえさん

徳島市・イラストレーター
女性らしいしなやかな感性を持ち
仕事と家庭を両立する。

森の片隅



山田 圭さん

徳島市・テンペラ画家
3年間のイタリア留学でテ
ンペラ画の技法を学ぶ。